



高山西ロータリークラブ

例会報告

第 2 6 3 0 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1 9 6 6 年 1 月 1 5 日

●例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
●例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
大垣共立銀行 高山支店 4 F

●会長 古橋 直彦
●幹事 遠藤 隆浩
●会報委員 塚本 直人



氷点下の朝散歩 蜘蛛 康介

<会長の時間>

本日のプログラムは「出前講座」の報告です。スピーカーの皆様宜しくお願ひ致します。

今から約 2 年前の H26. 3. 17、高山中央 RC にて前鈴鹿市教育長 水木健次様の「次世代を担う青少年の育成について」の卓話からです。

まず、若者の現状から。2012 年厚生労働省調べでは、若者無業者いわゆる仕事に就かないニートについては 63 万人、また、2013 年総務省調べによると 15 歳から 34 歳の若年人口のうち、正社員になりたくない人いわゆるフリーターは 182 万人（若年層の 6.8%）存在し、(10 年間で約 3 倍) となっており、結果として近年、「学校から社会や職業への移行が円滑におこなわれていない」現状が続いており、我が国の大きな社会問題となっています。キャリア教育の必要性が叫ばれる由縁もここににあります。次にこういったことが起こる原因はどこにあるかですが、一つは、20 年前位から起こっている日本経済の不況です。グローバル経済の中で、日本の経済状況が大変厳しい環境にさらされ、企業もぎりぎりのところで経営を迫られており、できるだけ人権費を節約せざるを得ない状況で、その結果、働いている人の 1/3 が非正規雇用（パート、アルバイト、派遣社員、契約社員、嘱託）で、若者の 1/2 が非正規雇用という状況です。当然、こういった現状を乗り越えて行く資質が若者に望まれるわけですが、現状はと言いますと、日本青少年研究所の「日本、アメリカ、中国、韓国」の高校生の意識に関する比較調査では日本の若者の課題が見えてきます。

◎私は価値のある人間だと思う

日本 36.1% アメリカ 89.1% 中国 87.7% 韓国 75.1%

◎自分の人生についてはっきりした目標を持っているか

日本 24.7% アメリカ 54.5%

◎将来に不安を感じている

日本 77.7% アメリカ 60% 中国 58%

◎宿題以外に予習復習をする

日本 35.7% アメリカ 62.1% 中国 67.3%

◎授業中積極的に発言する

日本 14.3% アメリカ 51.1% 中国 46.2%

◎家庭内にお金の使い方のルールがある

日本 29.6% アメリカ 58.2% 中国 70.5%

◎家庭内で門限など時間を守ることにルールがある

日本 46.4% アメリカ 60.8% 中国 70.3%

こうやって見てきますと日本の若者は自己肯定感、学ぶ意欲、将来への目標意識が低く、家庭のしつけも甘いように思います。

また、文部科学省の報告書でも「高校に入学した動機について」普通科の生徒の 60%が「自分の学力とあって」と答え「自分の個性を伸ばすことが出来る」とか「自分のやりたい勉強が出来る

と思う」と答えた生徒は 15%に満たないという結果がでており、はっきりした目標意識を持って進路を選択していないことが指摘されております。

こういった課題を克服するために、我が国の学校では、小学校から大学まで「学校から社会や職業への移行が円滑に行われるように」とキャリア教育に力を入れています。国の方では生徒が中学校卒業時には生徒が次の 4 つの力をつけて卒業することを目指しています。

◎自分にもできることがある、やりたいことがある。周りの人や社会のために役立てるといった肯定的な自己理解に基づき、主体的の行動できる「自己理解能力」と自分の思考や感情を律し、将来のために意欲的に学ぼうとする「自己管理能力」をつける

◎周りの人とコミュニケーションをとり、共に協力し積極的に将来の社会をつくらうとする「人間関係形成能力」と「社会形成能力」をつける。

◎課題を発見・分析し、理解できる「課題対応能力」をつける

◎働く事の意義を理解し、自分の将来について考えられる「キャリアアプラン能力」をつける。

生徒が中学を卒業するころまでには、語学力、基礎学力をしっかり付けて、学級活動、部活、生徒会活動等を通じて仲間づくりに励むと共に、他の地域に飛び出し、地域の文化や歴史、産業等を自分の目でよく見、考え、高山の強みや現業、更には課題について理解し、その上で自分たちの故郷に誇りを持ち、自分たちの手で故郷をよりよく育てて行こうとする意欲や態度を身につけてほしい。と言う内容の卓話でした。

高山西 RC も講師派遣事業「おじさん先生出前講座」の取り組みを実施していきます。

<幹事報告>

◎RI 日本事務局より

・3 月のロータリーレートについて
1 ドル 116 円 (現行 120 円)

◎ガバナー、ガバナーエレクトより

・2016-2017 年度 ロータリー財団補助金奨学生およびグローバル補助金奨学生について

◎はぐるま会会長より

第 1 8 1 回はぐるま会開催のご案内

日時 4 月 3 日(日) 12:50 スタート

場所 飛騨高山カントリークラブ

会費 3,000 円

締切 3 月 2 4 日(木)

<受贈誌>

高山 RC (会報)、RI「ロータリー創立記念日に寄せて」「ロータリーグローバルリワード」で特典をオファーしよう

世界へのプレゼントになろう

例会報告

<出席報告>

| 区分 | 出席 | Make-Up | 出席者数 | 会員数 | 出席率 |
|-----|-----|---------|------|-----|--------|
| 前々回 | 31名 | 3名 | 34名 | 42名 | 80.95% |
| 本日 | 29名 | — | 29名 | 42名 | 69.05% |

<本日のプログラム> 青少年育成委員会

委員長 大村 貴之

本日の例会は 青少年育成委員会 担当例会です。2月13日(土)に行いました『高山市キャリア教育を考える会 出前講座』の報告をさせていただきます。

今年度の出前講座は、高山市立日枝中学校1・2年生を対象に行いました。

9:00 開講式(テレビ放送にて)

9:25 全体講話

2年生担当 挾士 貞吉さん

1年生担当 門前 庄次郎さん

10:10 分科会(各教室)

| | |
|----------|----------|
| 1-A(32名) | 新井 典仁さん |
| 1-B(31名) | 黒木 正人さん |
| 1-C(32名) | 堺 和信さん |
| 1-D(31名) | 米澤 久二さん |
| 1-E(32名) | 住田 泰典さん |
| 2-A(40名) | 田中 晶洋さん |
| 2-B(40名) | 田中 武さん |
| 2-C(39名) | 田中 正躬さん |
| 2-D(39名) | 中島 弘人さん |
| 2-E(39名) | 向井 公規さん |
| わかば(9名) | 下屋 勝比古さん |

11:10 閉講式(テレビ放送にて)

講師の皆様には、お忙しい中参加して頂きありがとうございます。今回の出前講座を通じて、『高山で仕事をしていることへの誇り』『職業を通じた高山への思い』が生徒たちに十分伝えられ、これからの将来や就職を考える時に高山で仕事をしたい・高山でがんばりたいと思っていただけるのではないかと思います。

来年度の出前講座はまだ決まっていますが、ぜひ当委員会の継続事業として行っていただきたいと思います。またその際には、皆様のご協力をよろしくお願い致します。

黒木 正人

日枝中1年生は、全体講話を門前さん、1年A組を新井さん、B組が私黒木、C組を堺さん、D組を米澤さん、E組を住田さんが担当しました。

全体講話では、門前さんがまず「ロータリーとは何か」のお話をされました。

ロータリーがどんな活動をしている団体なのか、四つのテス



ト(「言行(げんこう)はこれに照らしてから 1. 真実かどうか、2. みんなに公平か、3. 好意と友情を深めるか、4. みんなのためになるかどうか)を日枝中の生徒会スローガンにたとえ、わかりやすく伝えました。そしてポリオの撲滅やインターアクトの活動等、将来のロータリアンに向けてのメッセージを發して頂きました。



次にご自身のサラリーマン時代の経験談を話され、これに対しては生徒の代表のお礼の言葉において、女性徒が「失敗しても、成長の糧にします」との感想を述べました。

更には、真ん中にある黒い部分を見ると壺に見えるし、白い部分をみると顔に見えるそういった有名なだまし絵などを使って、同じものでも見る色や角度・位置によって見え方が違ってくことや、ご自身のギフトの仕事に併せてオー・ヘンリー「賢者の贈り物」の話をなされた時は、生徒達の目がくるくると輝き出して、とてもいい雰囲気になりました。

その後、分科会ということで、各教室で授業を行ないました。今時の中学1年生はどんなんだろうと思ってドキドキでしたが、思っていたより「おぼこい」感じで、多少安心しました。

分科会では、各講師は、おそらく自分の好きなようにお話になったのだと思いますが、私は当然聞いていませんので、コメントは差し控えさせていただくつもりでしたが、多少見聞きした範囲内で述べさせていただきます。



まずは1年A組新井さんのフェイスブックでのコメントです。「今日は日枝中学校の生徒さん達に、自分の仕事に関するお話をさせてもらう機会を頂きました。40分ほどの時間だったのですが、生徒さん

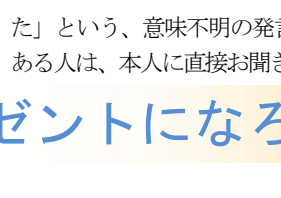
達との対話が楽しくて、色んなことを聞いたりしているうちに、自分が話そうと準備していた本題に入る前に時間が終わってしまいました。うーん、生徒さん達ごめんなさい。」このコメントからすると、次回も是非続きをお話したいと読めますので、新井さん、次の機会もよろしく願います。

1年C組は、堺さんでした。当然私は、何を話されたか知りませんが、閉校式での生徒代表の感想は、堺さんの講義についてでしたので、かなり良い話をされたのだと想像がつかます。



どんな生徒代表の感想だったかについては、ちょっと時間が経ちすぎて、忘れてしまいました。皆さん、申し訳ありません。

1年D組は、米澤さんでした。米澤さんは和井田製作所の決算短信のコピーなどを準備されていたので、会計の専門的なお話をされたのではないかと推測されますが、お昼ご飯の時の反省会では、「豚の話が受けてよかった」という、意味不明の発言をされていたので、ご興味のある人は、本人に直接お聞きください。



世界へのプレゼントになろう

例会報告

1年E組は、住田さんでした。分科会が終わってみんな集合したのですが、なぜか住田さんだけは帰ってきません。生徒達に拉致されたのではないかと心配しましたが、どうやら住田さんが生徒に一番近い立ち位置にあったようで、相当盛り上がり、時間が過ぎても生徒達が離してくれなかったようです。



さて、最後に私は、1年B組でした。最初に「銀行はどこを知っていますか？」との質問をしたところ、まず声が出たのは、「ゆうちょ銀行」でした。「他にはどこがありますか？」

と聞いた所、「十六、たかしん」と出て、そこで今日のいわか先生がひだしんだと気づいた生徒が、申し訳なさそうに小さな声で「ひだしん」と言いました。自分としては、この数年、ひだしんのブランド力を上げるために努力をしてきたつもりでしたが、あっけなく自信を打ち砕かれました。ちなみに大垣共立銀行は出てきませんでしたので、私から大共さんもあるよと宣伝しておきました。

事前の質問には、「つらいと思ったことはありますか」というのがありましたが、さすがに中学1年生に反社会的勢力の話をする訳にはいかず、銀行のしくみやマイナス金利などを話していたら、船を漕ぐ生徒がでてきたので、話を切り替え、趣味の話や、夢の話など子供達が将来夢を持ってそうな話に切り替えました。

また質問に「銀行員をやっている、お金より大切なものは何ですか？」というのがあり、「お金より大切なものは、愛する家族だよ」とかっこよく答えたのですが、私の目が泳いでいたのがわかったのか、大きくうなずく生徒はいませんでした。

私自身、もう子供も手が離れ、このところいつも大人との会話しかしていなかったため、今回の体験はとて新鮮で有意義なものでした。おそらく生徒さんたちも先生だけでなく、色んな大人の話が聞けて有意義だったと思います。この活動は、ロータリーとしてずっと続けていく価値がある活動だと感じました。

以上で、私の発表を終わります。

田中 武

私は2年B組1~6班(40人)を担当させて頂きました。始めに自己紹介から始まり、生徒たちが事前にくれていた「質問書」によれば、私のあてがわれたタイトルは『木造建築』に付いてでした。担任の山崎先生が、講師の先生に聞いてみたい事分からん事、何か有れば質問下さいよから始まりましたが、内心難しいことは聞かないで、と思っていました。



まず始めに生徒たちが「質問書」の内容から ◎なぜ大工さんになったのか？ ◎大変なことは何ですか？ ◎やりがいは何ですか？ ◎大工になる為にどのような資格がいるのか？

◎女の子でもなれるの？その他諸々でした。

我ロータリーの講師メンバーおそらく皆の共通事項が◎最高年収はどれくらい？で、やはりお金は大事な関心事のようです。

私は、昔の大工さんと今の大工さんの違いの話をしました。大きく違う点は、機械工具等の持ち方です。昔は手作業で電動工具が余り有りませんでした。かなり重労働で、全ての職人さんは皆そうですが、怪我をした



り、身体を痛める様な事も多かったような気がします。今みたいにPCで作成するような図面がなく、板図面一枚と尺竿と指し金、それに墨壺だけで家を建てていました。今みたいな正確な図面がなくてももしっかりした家を建てました。そして災害に強い家、雪が降った場合、その重さについてどうしたら良いのかです。

其の他自己紹介では終戦後、日本が大変な時、親たちがこれからの時代大事なものは(衣・食・住)のこの中の一つに就けば食いはぐれが無いぞ、そんなことも有って、住に関する職業を選びました、みたいなこと等を時間の許す限り話しましたが時間も無く、担任の先生が何か質問は？3~4人が質問してくれました。出来る範囲で答えました。最後に先生がもう一度、時間が無いので聞きたいことは有りませんかと言ってくれました。そうしたら又、5~6人の生徒が私の周りに集まって来てくれて、その質問に出来るだけ子供の目線で答えました。

結果としては良い出前講座が出来、思ったより質問が沢山有り、それに皆がしっかり聞いてくれたことでした。以上のような話を総括的に纏めての質疑応答でした。支離滅裂でしたが興味は持ってくれたと思います。私としては最高の気分でした。去年は久々野中学校でしたが、又一味違った出前講座でした。有難う御座いました。



世界へのプレゼントになろう

例会報告



<ニコニコボックス>

●古橋 直彦さん、堺 和信さん

- ・本日は青少年育成委員会・出前講座の報告会です。報告者の皆様よろしくお祈りします。また出前講座に行かれた皆様、ご苦労様でした。来年度も会員皆様のご協力をお願いします。
- ・次年度の委員長引き継ぎ会を4月8日に行います。例年より少し早いですが、必ず出席下さいませようお願いします。

●大村 貴之さん

- ・本日は青少年育成委員会担当例会です。出前講座の報告を田中武さん、黒木さん、よろしくお祈りします。
- ・本日の岐阜新聞に息子のサッカーチーム『高山ウイングス』がぶんけいカップ県大会出場として載りました。明日の試合頑張ってもらいたいです。

●門前 庄次郎さん

先週のクラブ奉仕委員会の委員長会議に出席いただいた会長幹事そして関係委員長の皆さんご苦労様でした。話し合いが長引いたほど良い意見交換が出来たと思っております。あと4ヶ月、其々の委員会活動がしっかり出来ますよう宜しくお願いします。また、その折に古橋会長・遠藤幹事、そして田近さんには大変ご馳走になりありがとうございました。

●黒木 正人さん

遅くなりましたが誕生日プレゼントの血圧計ありがとうございました。若い頃から血圧が高く、もう20年も薬を飲み続けていますが、その安心感から手元に血圧計は置いていませんでした。今回手元に血圧計を置く事になり、こまめに測っていたら結構上がり下がりがあり、薬を飲んでいてもイライラしている時は危険な状態にあることが分かりました。いつも穏やかな気持ちでいたいものですが、まだまだ人生修業が足りないようです。

●田中 晶洋さん

24日の妻の誕生日に素敵な花束を頂きました。大学2年の長女も春休みに帰省していたので賑やかな誕生日になりました。

●下屋 勝比古さん

前週は岩手県安比での国体をサポートしました。明日はブルズの”勝負”の試合に三重県鈴鹿に行きます。応援をお願いします。

●田中 晶洋さん、新井 典仁さん

外の空気がにわかには春の香りが漂い始めました。ウキウキしてきた方はあいのりをお願いします。



2年生全体講話

狹土貞吉

只今紹介を受けました株式会社狹土組の会長狹土貞吉です。石浦町で左官業をしています。住まいは桐生町です。昭和16年太平洋戦争勃発の年誕生（74歳）です。

先般、本日のスケジュール表が届いた時、私ごときもので良いのか、ロータリーには、4つのテストがあります。1つ真実かどうか、2つみんなに公平か、3つ行為と友情を深めるか、4つ「みんなの為に成るかどうか」。この4番目の事が私の話で「生徒の為に成るかどうか」気になり？正直迷いました。しかし受けたからには「はい・喜んで・よしやるぞ」我が人生を語って見よう、と心に決め出てまいりました。

私の最終学歴、丹生川中学時代のこと、社会の事、会社の事、人間性「人柄」についての話をさせていただきます。

私は中学2年生の時、左官になることを決めていました。それは先生から進学か就職かと問われ進学しなかったのですが、戦後間もない時期であり、あの頃は多数の家は貧しく家族が食べていくのがやっとの時代であり、お金が無く高校行きは諦めざるをえなかったのです。

手に職をつければ「食いはぐれは無い」から左官になれと親に言われ、この道を選び「一意専心」今日に至っています。

今にして思うと就職を早く決めたことで勉強をせず卒業した事が悔やまれてなりません。あの当時先生方は進学組が大事で（歴史、英語、音楽）の時間は進学組の入試勉強にまわし、私たち就職組には外で遊んで来いと言われ、外でサッカーや野球、ソフトをして時間を過ごしました。

その時は楽しかったのですが、実社会に出ると解らない事、知らない事ばかりで恥をかくことが多く、悲しい思いばかりしています。学校の勉強は大事です。私のような思いをしないように皆さん義務教育中は真剣に勉強しておいてください。自分の為です。

それでも学歴が無く得する事があります。それは学校を出られた皆さんから高校、大学と長い期間とお金をかけ、勉強してきた事（答え）を一言で教えてもらえることです。知らない事、勉強していない事をその場で恥がずかしながら聞くことで習えるのです。実は勇気のいる事ですが、「知恵を出す」と言うのはこのことかと思えます。同級生が学校に行っている間、私は徒弟制度の中で「汗して働き」技と心を磨き金を貯め、家を建てました。

私は中学を卒業する時にある男と学歴だ、いや実力だと真剣に言い争った事があります。学力があり頭の良い人が国家を作り、社会を動かし、世の中をリードしているのですから学歴（学力）は必要な事はわかっていながらも、負けじと言い争いをした事今もって鮮明に覚えています。私は今日までその男をひそかに良きライバルとして職人の道、実力で頑張ってきました。

今、スポーツで活躍中の若いアスリート、羽生くんや真央ち



世界へのプレゼントになろう

例会報告

さん達を見てもおわかりのように、お互い良きライバルがいて、負けまいとする根性が自分を成長させます。そして目標とする金メダルが取れるのです。それにはどんな苦しみにも耐え努力することで磨かれ成長し（競技）が楽しくなり、あのよう活躍できるのです。

私は今この身体ですが治すため同病「脳卒中」で倒れた長嶋茂雄氏を良きライバルにして毎日会社へ6時半には必ず出勤しその後通所リハビリ、訪看等で頑張っています。

実社会もまったく同じです。競争の毎日です。何事も諦めず我慢し努力して頑張る者が、仕事も楽しくなり勝ち残れるのです。ノーベル賞を取られた先生方も諦めないで続ける事が大事と、何方も言われています。

頭の良いできる人は、その道で努力し、「志を高く」もちおおいに羽ばたいてください。

昔は良く「働かざるもの食うべからず」、また「若いうちの苦労は買って出よ」と言われましたが、このことは昔も今も変わりありません。大事な事です。

私が中学時代に経験した「ある事」で、今生かされおり、有り難いと思うことがありますので聴いてください。

中2の時、私は野球部に所属していました。（斐太高校、高山高校が放火で焼失した年）ユニホームが欲しく親に頼むと朝市に出て卵を売って来い、その金でユニホームを買えと、親父の一言で、日曜日と夏休み期間中朝市に出ました。卵を新聞紙に10個ずつ包み、びくに入れて背負い、朝暗いうちに起き丹生川から自転車で高山まで、あの当時のでこぼこの坂道ですから約2時間近くかけ到着し、安川の朝市にたって卵売りをしました。

ある時こんな事がありました。重くて途中荷つけに**びく**を載せ、朝市に来てびくを降ろすと卵が割れていました。半べそをかいていると、それを見たなじみの叔母さんが家から井を持ってきてくれ、その卵を入れてお金をくださいました。あの嬉しくて助かった事が今でも忘れられません。怠け心や、お金の尊さ、思いやりの心の大切さを身をもって知った体験が生かされ今日があると思っています。卵売りに行かせた親に感謝しています。

話は変わりますが世の中すべて3,4,3だと思っています。クラスを見てもそうでしょう。頭の良い人3、普通の人、やれば出来るのにやらない人4、私のような出来の悪い勉強ができない人3、そんなものです。それが娑婆、実社会です。

そこで競争が始まり努力し頑張った人が認められ出世する。逆に頭がよくても怠けたり油断したり、悪をした人は時に一夜にして地獄にまで落ちる、落とされるのです。野球選手の花形であった清原（薬物使用）や、政治家の馬鹿な宮崎氏、（甘利）よくない大臣等、を見ておわかりと思います。

又、この所の報道を見ておわかりのように、金儲けのみに走った悪徳業者や企業人、他のお偉い一部の人達ですが間違いを起こしています。この人たちは最初の3にいる人たちです。「人の振り見てわが身を直せ」悪がいるから善が光る。「誠実」まじめ人間が認められ信用を得るのです。最後の3にもチャンスはあるのです。

人間生まれながらに金持ちの家で生まれ頭の良い人もいれば、ごく普通、それなりの生活のできる人、また貧乏で生活も苦しく、勉強も出来ず運の悪い人と、様々です。

生まれてきたからにはそれを恨み悔やんでも仕方のない事であり「神ぞ知る」天命（運命）と思い「足るを知る」（下見て暮らせ、上見て進め）の格言のごとく努力あるのみだと私は思います。

あの震災で被災された気の毒な人達、また戦争やISのテロにおびえ逃げ惑う難民の姿を思い起してください。私たち日本飛騨に住む人間は幸せ者です。感謝しなくては。就職するなら郷土飛騨高山です。高山で一花咲かせてください。

その日その日を確実に「精一杯努力」して生きれば必ず幸せになります。今の私はこんな身体でも人様に可愛がって頂き運の良、幸せな男だと感謝しています。「最後の3」でも頑張れば幸せはつかめます。幸せと言う字は、辛いという字に一棒加えて幸せになります。正に其の通りです。実感しています。

時代は変化しています。私たちの育った戦後まもない「働かざる者食うべからず」衣食住とも生活がどん底時代から、金の卵と言われた「高度経済成長時代」、バブルの絶頂期、フリーター、ニートが出た時代、そして今バブルの崩壊で「低成長少子高齢化」で、この先が不透明で不安定な時代を迎えています。

この時代今、中学で職業の選択、方向性を決めることは容易な事ではなく不安であり難しい事であろうと思います。しかし今年より選挙権が18歳からです。もうすぐ大人の仲間入り、政治に参加できるのです。社会を知るべきであり政治の目を養うべきです。中日新聞5P社説、発言欄を読むのが勉強になると思っています。

皆さんは勉強して新しい良い日本を（高山を）作って行ってください。夢は実現します。もう目の前に車のハンドルを握らなくとも目的地に着く日が来ているAI（人工知能）の時代です。機械化、情報化の時代です。科学の進歩は目覚ましいものがあります。何もかもが私たち古い昔の人間には考えも及ばない新時代の幕開けです。先を読みプラス思考で生きるべきです。

皆さん進路を決めるにあたって、今は「自分の好きなこと」、「やってみたい事」、「あこがれること」等を、思い描いて高い志、夢と希望を持ち、それに近づける為の勉強を精一杯することだと思えます。そして部活で強い精神を作ることです。

また、今後いかに社会がロボット化されようが、それを作り支配するのは人間です。少子高齢化時代を迎えている今、いや今からは若者（勤労者）が求められ、売り手市場、どの道にも就職には事欠かない時代が来ると思えます。マイスター時代到来と思っています。職人も悪くない時代が来ました。

ここで我が社の概要を話し、「企業が求める人材」を知っていただければと思います。

若い社員が今は30人ほどで飛騨一円の左官、タイル、ポンプ圧送工事を行っています。現在は高山駅や銀行、真光、グリーンホテル、各学校の耐震工事、住宅の壁塗り等、忙しい毎日を送っています。社長始め社員頑張ってくれています。

今までに我が社で育った職人は100人近くいます。1・2級の

世界へのプレゼントになろう

例会報告

国家試験合格者、県知事表彰受賞者も何人かいます。

今、時の人となりテレビに出る真田丸の題字を書いた挾土秀平は、私の甥っ子です。我が社で技能を磨き全国左官技能競技で優勝しました。その後土壁研究をし、芸術的センスを磨き独立して今日に至っています。

私も若い時全国大会で4位を取り、次の年の優勝？を狙っていましたが、会社の都合で参加できなくなりチャンスを逃しました。それが残念で一発奮起し、桐生町北小学校前から石浦町に移し、ビル（社員寮、研修場）を建て「技能訓練校」にして会社組織にし、職人を育ててきました。それでは「我が社」の社是と心得を少し語り、企業が求める人財を知り参考にしていただければと思います。

我が社の経営理念、働く心得、五つの基本姿勢をお話させていただきます。

- 1 誠実は信用の基 顧客第一「誠と和」を以って尊しとなす。常識、挨拶と掃除のできる人間、いつも元気で朗らかに。
- 2 努力は発展の基 限界に挑戦、努力とは結果で示すもの。無理、出来ないと言わないで、出来る方法を考えろ。
- 3 反省は向上の基 失敗を恐れるな、心の糧にせよ、常に向上心を持って。
- 4 質素は安定の基 「もったいない」「おかげさま」の心で事に当れ
- 5 健康は幸福の基 安全第一、「豆なが宝」自分の身体は自分で守れ。

スローガン

技術は我が社の生命、「技と心」を磨きよい会社を作ろう。

少子高齢化時代、我が社で今自慢できるすごい事があります。それは、若い20代、30代の職人が結婚しこの4、5年で子供が13人も誕生しております、又結婚しまだ子供が誕生する可能性を秘めています。又住宅も建て今年3人が新築の計画中という嬉しく、頼もしい現実があります。正に磨けば光る頼もしい人財がいます。（親方）、私会長として嬉しい限りです。

「北小生徒1100人」のPTA会長時代と斐高役員での思い出話し、当時北小PTAスローガンを「教えよう正しい躰、育てよう思いやりの心」として挨拶と履物揃えの実践活動を徹底して行った。鏡を見よ「己を映せ、心まで」、ライバルは自分、表の自分と裏（心の弱い自分）対面、「己に克て」迷い壁に突き当たった時は、人の役に立つ事、正しいと思う事に決断せよ。

「入学式での挨拶」、真新しいランドセルを背負ってきた子供に休まず学校に来る子が良い子と話す。そのことを褒める為に我が西ロータリクラブが全市の学校に義務教育9年の皆勤表彰始めた私は張本人です。何を言いたいのか……それは、社会で求める、企業で求める人財は何事にも耐え素直で、まじめに休まず働く人間です。私から言わせれば少しくらい頭が悪くても人柄の良い人「心」が一番大事だと思っています心にゆとりを持ち思いつめず、気楽に楽しく生きましよう。後は努力次第、

磨けば光ります。やる気だけです。頑張りましょう。

「はい・喜んで・よしやるぞ」「和顔愛語」前向きにプラス思考です。

人間の心理は 褒められたい、認められたい、役に立ちたい、愛されたい、だと思ふ。これは相手があつてのことです。「思いやる心」、「おかげさまの心」があつて欲望がかなうのであり頭で無く「心が大事」なのです。「愛」ハート義理人情、常識をわかまえた人です。「人柄が大事」なのです。人をいじめたり、傷つけたり、嫌がらせをするような人間、嘘をつく人間は世間は相手にしません。

私は今、保護司をしています。非行や犯罪を犯した少年の家庭訪問して思う事ですが、玄関の履物が揃っていない、靴尻は踏み潰し、靴は「アッチムイテ・ホイー」ばらばらの家があります。親もなっていないダメです。心が整っていないわけで、自然と善悪のけじめが出来ず間違いを起こすと思ひ私はその人を更生させる為に、よくその場で揃えろと言って聞かせることがあります。

履物は石も釘も汚れたものも直に踏み、足の裏と身体をも守ってくれるのです。「脚下照顧」この履物を揃える感謝の気持ちが無い人は相手の心も分からぬ人間であり、心も乱れ悪をすると思えてなりません。皆さん恋人を決めるとき玄関を見て人柄を見て決めてください、言いすぎかな？友人、同級生は生涯の友です。又恋心、大事です。失恋もあつてよいのです。己が成長します。人生いろいろ有りですそれが娑婆です。「己に克つ」ことが大事なのです。

また嘘つきは泥棒の始まりと言います。嘘はいけません。今スマホ等による犯罪も増えています。気をつけてください。女性の方、身を守ってください。おいしい話、お金のいる話は絶対簡単に乗らないことです。人様ごとで無く身近に迫っている事です。ワイドショーで放映した下呂市の高校生による薬物の問題、あれだけの騒ぎです、又清原を見てもお分かりです怖い事です。絶対手を出さない事です。

法務省主催、「社会を明るくする運動」高山保護区保護司会の作文コンクール発表会や、昨年高山市の「少年の主張」コンクールでの日枝中生徒さんの発表が素晴らしく感動して聴いていました。あの節はありがとう御座いました。

最後になりますがとにかく勉強も大事ですが、人柄です。大きな夢、「高い志」を持ち社会に出て羽ばたいてください。平和な素晴らしい日本を、そして郷土飛騨高山を皆さんの「手で頭で」作り発展させて、働くものが報われる「一億総活躍社会」を創っていただくことを祈念し与えられた時間の「前座」を終わります。

この後立派な学歴を持った若い西ロータリー、メンバーの経営者（社長）達が各教室でお話しますので乞うご期待し、また質問し、将来の進むべき道方向性を決めてください。ありがとうございました。頑張ってください。

世界へのプレゼントになろう